
架空兵器大特集

天地銀河

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

架空兵器大特集

【Nコード】

N6262R

【作者名】

天地銀河

【あらすじ】

趣味で考えました架空兵器を紹介していきます。

1 戦艦『上野』（前書き）

新しく始めました。矛盾点がありそうですがご了承ください。
ではどうぞ。

1 戦艦『上野』

作者

「さて始めました架空兵器大特集。ここでは自分が考えました架空兵器達を紹介していく小説です」

暁

「また妙な物を始めましたね」

炎龍

「へっつ、こういう奴が出てくるか楽しみだな」

作者

「では記念すべき第一回目どうぞ」

戦艦上野

全長 330m

全幅 40m

基準排水量 13万5000トン

満載排水量 17万8000トン

最大速度 49ノット

航続距離 18ノットで2万海里

乗員 3000人

武装 50口径51cm3連装主砲4基12門

60口径15.5cm4連装副砲2基8門

70口径長10cm3連装高角砲30基90門

40mm4連装機関砲30基120門

同連装機関砲10基20門

37mm3連装機関砲40基120門

同連装機関砲10基20門

20cm36連装噴進弾10基

零式垂直発射管150セル

水上機 10機（水上観測機5機、水上偵察機5機）

カタパルト 2基

姉妹艦 下野、常陸、相模

説明

大和級戦艦とダンケルク級戦艦の基本設計を組み合わせで作った戦艦で40mm機関砲はボフォースを元に改良し運用している。高角砲は12.7cmではなく対空に特化した長10cm高角砲を搭載し防空能力を格段に上げた。

作者

「どうでしょうか？」

暁

「うん、性能に偏りがありませんね」

炎龍

「なかなかいいぞ、この戦艦は」

作者

「よかった、さて次は航空機を紹介していきます」

1 戦艦『上野』（後書き）

ご意見・ご感想をよろしくお願いします。

2 ジェット艦上戦闘機『雷薙』、超大型重爆撃機『鳳凰』

作者

「また来ました。本日2回目の投稿です」

暁

「今回もすごい物を考えてますね」

炎龍

「また期待しているよ」

作者

「分かりました。ではどうぞ」

ジェット艦上戦闘機『雷薙』

全長 19.2m

全幅 12.5m（折り畳み時8m）

全高 3.5m

発動機 『ネ50』2基（胴体組み込み式）

最大速度 マッハ2.5

航続距離 3000？

乗員 1名

武装 機首30mmガトリング砲2門

翼内12.7mmガトリング砲4門

爆装 小型噴進弾20発

中型噴進弾10発

大型噴進弾6発

500？爆弾2発

説明

雷雫は米軍のF4ファントムを元に開発したジェット艦上戦闘機ですべての任務に対応できる汎用性を持っている。

作者

「どうよ」

暁

「何と言ったらいいでしょうか？普通ですね」

炎龍

「ああ確かに普通だな」

作者

「はあゝそうですね。では次行きましょう」

超大型重爆撃機『鳳凰』

全長 40m

全幅 60m

全高 10m

発動機 『GRX2000ターボジェットエンジン』 8基

最大速度 900?/h

航続距離 20000?

乗員 12名

武装 20mm4連装旋回式機関砲8基32門（機首1基、上部3基、尾部1基、下部3基）

13mm単装旋回式機関銃8基8門（右舷4基、左舷4基）

爆装 1トン爆弾50発

500?爆弾100発

250?爆弾200発

説明

富嶽を超える爆撃機でB52ストラトフォートレスを元に開発したためか形がそっくりとなっていました。掃射型や輸送型の開発が進められている。超大型のため滑走路は10000m必要と規格外の滑走路の長さのため日本本土の滑走路を使っしかない。(ちなみに開発、運用拠点は佐渡島)

作者

「これならどうだ」

暁

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

炎龍

「すこ過ぎる。すこ過ぎるぞ作者!」

雷龍

「まさに規格外の性能だな」

水龍

「まだ暁さんが安心してます」

作者

「しょうがない。次回予告行きます。次回は駆逐艦、巡洋艦行きます」

2 ジェット艦上戦闘機『雷薙』、超大型重爆撃機『鳳凰』（後書き）

ご意見、ご感想よろしくお願いします。

3 重巡洋艦『光陵』、重雷装駆逐艦『葉月』

作者

「さて3回目となりました」

暁

「ええ、何ですかね。この時だけ物凄く頻繁に投稿してますね」

炎龍

「今日だけで3回目だから物凄いな」

作者

「やっぱり楽しいな」

水龍

「まあ、いいじゃありませんか」

雷龍

「そつだな、ではどうぞ」

重巡洋艦『光陵』

全長 230m

全幅 23m

基準排水量 2万5800トン

満載排水量 3万4500トン

最大速度 53ノット

航続距離 18ノットで2万4000海里

乗員 1100人

武装 60口径25.5cm3連装主砲6基18門

70口径長10センチ3連装高角砲20基60門
40mm4連装機関砲10基40門
同連装機関砲12基48門
37mm3連装機関砲10基30門
同連装機関砲12基36門
20cm36連装噴進弾6基
62cm4連装魚雷発射管6基
水上機 4機（水観2機、水偵2機）
カタパルト 2基
姉妹艦 星陵、凍陵、海陵

説明

高雄型重巡洋艦を元に建造した重巡洋艦であり対空、対艦に特化した重巡洋艦でバランスが整っており生産性が良い艦艇となっている。

作者

「どうでしょうかね？」

暁

「この排水量でこの武装は驚きです」

炎龍

「過剰でもなく、貧弱でもない武装量、まさにバランスがいいな」

作者

「そうですね。次どうぞ」

重雷装駆逐艦『葉月』

全長 170m

全幅 14m

基準排水量 3300トン
満載排水量 4200トン
最大速度 60ノット
航続距離 18ノットで9000海里
乗員 500人
武装 70口径長10cm連装主砲2基4門
40mm4連装機関砲8基32門
同連装機関砲10基20門
37mm3連装機関砲10基30門
同連装機関砲8基24門
62cm5連装魚雷発射管5基（一直線上に配置）
爆雷投下機2基、爆雷100発
ヘッジホック2基
姉妹艦 豊月、荒月、銀月以下多数

説明

旧日本海軍には雷撃専用艦と言う艦艇が2隻いた。この駆逐艦は重雷装でなおかつ超高速であるため敵を翻弄してからの必殺魚雷を放つ戦法がこの駆逐艦の強みである。さらに強力な電探や妨害電波、チャフ発射装置など情報専門艦としても運用が可能。

作者

「完成です」

暁

「ちょっとまって、これではトップヘビーとなりますよ」

作者

「問題ありません。元々武装などなるべく軽量化するなど対策は取っていますよ」

炎龍

「それならいいんだが」

雷龍

「さて、次回をお願いな」

作者

「さて次回は航空母艦と潜水艦を紹介します」

3 重巡洋艦『光陵』、重雷装駆逐艦『葉月』（後書き）

ご意見・ご感想よろしくお願いします。

4 重装甲空母『天城』、潜水空母『伊900』

作者

「今回から登場する艦魂を当番制にして行きます。今回は暁さんと炎龍さんです」

暁

「作者殿、何故当番制にしたのでしょうか？」

作者

「んっ、話などをスムーズにするため」

炎龍

「納得できないな」

作者

「そこは何とかして、ではどうぞ」

重装甲空母『天城』

全長 400 m

全幅 75 m

基準排水量 14万5000トン

満載排水量 17万2000トン

最大速度 49ノット

航続距離 18ノットで2万2000海里

乗員 4500人（航空要員などを含む）

武装 70口径長10cm3連装高角砲30基90門

40mm4連装機関砲100基400門

20cm36連装噴進弾20基

格納庫 4段式で60機ずつ収納可能

搭載機数 雷薙艦戦60機

流星改艦攻70機

流星改艦爆70機

星電偵察機20機

彩雲偵察機20機

合計240機

エレベーター 4基

カタパルト 4基

姉妹艦 赤城、葛城、阿蘇

説明

巡洋戦艦からの改造ではなく純粋な空母として建造された空母であり、重装甲は1トン爆弾の直撃を受けてもビクともしない。アングルト・デッキ、カタパルト、煙突艦橋一体化など新機軸の試験運用に使われた空母としても有名。

暁

「すこっ!」

炎龍

「まさしく重装甲空母だな」

作者

「ミッドウエーの教訓からこうなりました。次どうぞ」

潜水空母『伊900』

全長 200 m

全幅 16 m

基準排水量 水上4500トン、水中8700トン

満載排水量 水上6300トン、水中1万1000トン

最大速度 水上25ノット、水中23ノット

航続距離 水上18ノットで6万2000海里、水中10ノットで

1500海里

乗員 500人

武装 62cm魚雷発射管14門（前方に12門、後方に2門）

零式酸素魚雷70本

収納式70口径長10cm連装高角砲6基12門

収納式40mm連装機関砲10基20門

SLBMメガランチャー20基（左右に10基ずつ）

15cm25連装対空噴進弾3基

搭載機数 特殊攻撃機『晴嵐』4機

カタパルト 1基

姉妹艦 伊901、伊902、伊903以下多数

説明

潜水空母伊900は旧日本海軍の伊400を発展改良した潜水艦でSLBMは烈火弾、烈空弾、時雨弾を撃つ事が可能である。伊400と同じで晴嵐を積んでいる。

暁

「・・・・・・・・・・」

炎龍

「また放心状態になっているよ」

作者

「やはり現代装備を導入したのが良かったのか、悪かったのか」

炎龍

「これ一隻で大体いくらになる」

作者

「これです」(炎龍に伝票を渡す)

炎龍

「や、安い！この性能でこの値段は安すぎるぞ！」

作者

「そうですね？あつ、次回は軽巡洋艦と航空機、輸送艦を3本立てで行きます」

暁

「・・・あつ、皆さん見てください」

二人

「「(復活した!!)」「」

4 重装甲空母『天城』、潜水空母『伊900』(後書き)

ご意見・ご感想をよろしくお願いします。

5 防空軽巡洋艦『綾瀬』、ジェット艦上攻撃機『星河』、高速輸送艦『春』

作者

「さて今回は水龍さんと雷龍さんです」

水龍

「皆さんどうも」

雷龍

「今回は3本立てだって聞いたが」

作者

「ええ、そうです。ではどうぞ」

防空軽巡洋艦『綾瀬』

全長 230m

全幅 23m

基準排水量 1万5000トン

満載排水量 2万2000トン

最大速度 56ノット

航続距離 18ノットで2万3000海里

乗員 1200人

武装 60口径15.5cm3連装主砲4基12門

70口径長10cm3連装高角砲20基60門

40mm4連装機関砲20基80門

同連装機関砲10基20門

37mm3連装機関砲20基60門

同連装機関砲10基20門

20cm36連装噴進弾10基

62cm4連装魚雷発射管6基（左右に3基ずつ）

水上機 4機（水戦2機、水偵2機）

カタパルト 2基

姉妹艦 長瀬、成瀬、高瀬

説明

アトランタ級軽巡洋艦と秋月級駆逐艦のデータをもとに建造した防空軽巡洋艦で艦隊護衛を主任務とする艦艇である。今の所、対空能力はトップクラスである。

雷龍

「なかなかいいな、この艦艇は」

作者

「そうですね？ 案外普通だと思いますけどね？」

水龍

「いいえ、すご過ぎます」

作者

「ならいいんだが、あつ、次どうぞ」

ジェット艦上攻撃機『星河』

全長 18.9m

全幅 12.2m（折り畳み時7m）

全高 3.5m

発動機 『ネ50』2基（胴体組み込み式）

最大速度 マッハ2
航続距離 2800km
乗員 1名
武装 機首30mmガトリング砲2基
爆装 小型噴進弾20発
中型噴進弾10発
大型噴進弾6発
1トン魚雷2発（胴体収納式）
1トン爆弾2発 "
800kg爆弾2発 "

説明

F15Jを元に開発した艦攻であるが流星改と同じ艦爆との兼用ができる機体で次世代の艦上攻撃機兼艦上爆撃機として量産化されている。見た目は完全にF15J。

水龍

「すごいっ！」

雷龍

「なぜF15Jに似せて作ったんだ？」

作者

「開発陣がF15Jにかかる空気抵抗が一番低いからこうなった」

水龍

「ふっん、次どうぞ」

高速輸送艦『春』

全長 240 m

全幅 20 m

基準排水量 1万8000トン

満載排水量 2万9000トン

最大速度 55ノット

航続距離 18ノットで3万海里

乗員 130人（兵員輸送時は2000人）

武装 40 mm 4連装機関砲10基40門

同連装機関砲6基24門

37 mm 3連装機関砲10基30門

同連装機関砲6基18門

20 cm 36連装噴進弾4基

最大搭載量 物資2000トン

戦車20両

装甲車30両

兵員1500人

姉妹艦 夏、秋、冬、晴、雨、雪以下多数

説明

長期間の艦隊行動に欠かせない輸送艦。大量搭載を目的に建造され脆弱性を完全に払拭した構造で改造すれば護衛空母にもなれる。

雷龍

「何かすごいとしか言いようがない」

水龍

「うん、これがあれば長期間でも活動ができるね」

作者

「それ、この輸送艦は長期間の消費にも耐えきれるように大量の物資を運べるように設計しました」

雷龍

「そろそろ次回予告を」

作者

「次は戦車、海防艦を紹介していきます」

5 防空軽巡洋艦『綾瀬』、ジェット艦上攻撃機『星河』、高速輸送艦『春』

ご意見・ご感想よろしくお願いします。

6 六式重戦車『ソラ』、防空海防艦『閃空』

作者

「さて今回は飛鷹さんと隼鷹さんです」

飛鷹

「皆様、お久しぶりです」

隼鷹

「作者殿、この頃出番が無いってどういふ事よ」

作者

「だからこうして出番を作ったんだろ」

飛鷹

「そうですか。ではどうぞ」

六式重戦車『ソラ』

全長 11.2 m

全幅 3.5 m

全高 3 m

重量 50 トン

最大速度 60 km/h

航続距離 500 km

乗員 5 人

武装 60口径127mm滑空砲1門

上部12.7mm重機関銃1門

車体7.7mm機関銃2門

60mm10連装ガンランチャー2基

正面装甲180mm

側面装甲70mm

後方装甲80mm

説明

対戦車戦を想定して開発した重戦車で見た目は米軍のM1エイブラムスであり、必要に応じてチョバムアーマー（積層装甲）が搭載できる。新基軸としては屈折砲塔、データリンク・システム、レーザー測量を用いた射撃統制装置など現代戦車の結晶と言える重戦車となった。

作者

「どうでしょうか？」

飛鷹

「私は空母の艦魂なので陸軍の事はあまり分かりませんが、この性能からして現代戦車と打ちあっても大丈夫でしょう」

隼鷹

「うーん、分からないや」

作者

「そうですね。次行きます」

防空海防艦『閃空』

全長 110m

全幅 11m

基準排水量 1000トン
満載排水量 1800トン
最大速度 60ノット
航続距離 18ノットで2万海里
乗員 500人
武装 70口径長10cm単装速射砲2基2門
40mm4連装機関砲8基32門
同連装機関砲10基20門
37mm3連装機関砲8基24門
同連装機関砲10基20門
爆雷投射機2基、爆雷120発
ヘッジホック2基
姉妹艦 烈空、熱空、天空以下多数

説明

沿岸警備や船団護衛を目的に開発した海防艦で無駄な機能を徹底的に省き必要な機能だけを取り込んだ量産性に優れた海防艦である。勿論、友鶴事件の教訓を生かしている。

作者

「完成しました」

飛鷹

「作者殿、この排水量でこの武装は多すぎるのではないのでしょうか？」

作者

「何を言っているんですか。ここだけの話だがこの武装にさらに4連装魚雷発射管1基を搭載するつもりだったんですよ。けど護衛に

魚雷なんて必要じゃないから省いたんですよ」

飛鷹

「省いてこれですか、え〜とそれなら問題ないです」

隼鷹

「作者殿〜とね先生から挑戦状が」

作者

「またですか。今度はどれと・・・!!」

飛鷹

「どうしましたか作者殿？」

作者

「やべ〜勝てるわけないよこの相手じゃあ」

飛鷹

「どれどれ・・・確かにこれではまずいですね」

隼鷹

「二人してそんなに険しい顔をしないでよ。怖いです」

飛鷹

「あつすまない隼鷹」

作者

「一応次回予告していくか。次回は戦艦と空母、航空機の3本立てで行きます」

6 六式重戦車『ソラ』、防空海防艦『閃空』（後書き）

ご意見・ご感想をよろしくお願いします。

7 原子力双胴機動戦艦『播磨』、回転翼攻撃機『轟龍』（前書き）

予定を変更しまして戦艦と航空機を紹介します。

7 原子力双胴機動戦艦『播磨』、回転翼攻撃機『轟龍』

作者

「は〜い注目！」

如月

「なんて俺まで・・・」

炎龍

「また作者の事だ。しょうもない事を考えているに違いない」

雷龍

「それは言えている。それより・・・暁がいないな」

コンコン

暁

「作者殿、連れてきました」

作者

「おつ、来たか入ってもいいぞ」

??

「「「失礼します!!!!!!」」」」

如月

「あの〜君達は？」

作者

「あつ、如月達にはほとんど話してなかったね。では自己紹介を」

？

「皆さん初めまして、私は上野級戦艦一番艦上野の艦魂の上野と申します」

？

「初めまして、私は上野級戦艦二番艦の下野の艦魂の下野です」

？

「初めまして、僕は上野級戦艦三番艦の常陸の艦魂の常陸だよ」

？

「・・・上野級戦艦四番艦の相模の艦魂の相模です」

三人

「「「OAO!!!!????」」」

暁

「あの～如月さん？」

如月

「はっ、済まない。あまりにも驚いたからつい」

炎龍

「作者にしては驚きのサプライズだな」

如月

「あつ、自己紹介がまだだったな。俺は如月大悟海軍大将。蒼穹の艦隊の主人公である」

上野

「よろしくお願いします如月大将」

下野

「よろしくね如月さん」

常陸

「これからもよろしくお願いします」

相模

「・・・よろしくお願いします」

作者

「自己紹介が終わった所で紹介します」

原子力双胴機動戦艦『播磨』

全長 650m

全幅 130m

基準排水量 65万5000トン

満載排水量 100万5000トン

最大速度 45ノット

航続距離 原子力のため無限

乗員 8500人

武装 50口径60cm3連装超電磁砲8基24門（左右に配置）

50口径80cm連装超電磁砲4基8門（艦中央に配置）

60口径25.5cm3連装副砲6基18門

70口径長10cm3連装高角砲70基210門

6砲身40mm自動旋回砲塔100基（今で言うCIWS）

シースパロー36連装発射機10基
艦対艦6連装ハープーン10基
20cm36連装噴進弾20基
零式垂直発射管300セル
航空機 垂直離着陸機10機、回転翼機10機
姉妹艦 丹波、丹後、但馬

説明

艦艇としては原子力機関、超電磁砲つまりレールガンの運用した双胴戦艦であり列車砲を艦砲に改良し搭載した80cm連装超電磁砲は厚さ7mのコンクリートの壁を撃ち抜くほどの威力を発揮している。

上野を除く3人

「「「OAO!!!???'」」」

作者

「あゝあ、驚きを超えて沈黙しているよ」

如月

「これはちょっと無理があるのでは無いか」

作者

「問題無い。今の所建造は順調だからな」

炎龍

「それならいいんだが・・・」

作者

「次行きましょう」

回転翼攻撃機『轟龍』

全長 16・5 m

全幅 15・5 m

全高 4 m

回転翼 直径15 m

発動機 『飛槍^{ひそう}25型発動機』 1基

最大速度 400? / h

航続距離 2000 km

乗員 2人

武装 6砲身30 mm自動旋回砲塔1基（操縦席下部）

6砲身25 mm自動旋回砲塔2基（側面の兵装架）

空対戦車噴進弾発射管2基

空対空36連装噴進弾発射管4基

空対地36連装噴進弾発射管4基

説明

歩兵部隊の支援機として開発した現代で言う攻撃ヘリであり、飛槍25型発動機は2500馬力を誇り高性能と長大な航続距離を実現している。空挺部隊、強襲部隊の母艦としても運用が可能で機体を改装すれば最大10人乗れる。ローター上部に射撃統制レーダーを搭載している。

暁

「これは・・・すごいです」

如月

「改良すれば強襲部隊の母艦って汎用性がいいなこの機体は」

炎龍

「よく見ればこいつが初めてのレシプロ機となるな」

雷龍

「確かに今までジェット機ばかりだからな」

作者

「今回初めて出しましたよ。へりですが」

炎龍

「元より戦闘機はすべてジェット機と言う作者の願望が丸見えだが」

作者

「そんな事はありません」

雷龍

「異議ありいッ！！あなたは嘘を付いている！！」

如月

「うおっ！いきなりの逆転裁判ネタ！」

作者

「それでも僕は嘘をついてない！」

暁

「何かの映画に有りましたね」

雷龍

「一応証拠がありますよ」

作者

「ひとまず・・・逃げる!!」

如月

「逃げたし・・・次回予告は・・・上野行くか？」

上野

「分かりました。次回は飛行艇と戦闘車両をお送りします。こんなのでよろしいのですか如月大将」

如月

「ああ大丈夫かもな・・・」

7 原子力双胴機動戦艦『播磨』、回転翼攻撃機『轟龍』（後書き）

下野

「ご意見」

常陸

「ご質問」

相模

「ご感想」

三人

「「「よろしくお願いします!!!」」」

8 十式大型飛行艇、十式装甲車『ソド』

作者

「え、今回は上野さんと下野さんです」

上野

「作者殿、あの件はどうなったのですか？」

作者

「・・・聞かないでくれ」

下野

「そつですか・・・ではどうぞ」

十式大型飛行艇

全長 37.72m

全幅 5.8m

全高 13.2m

発動機 『火星25型』 6基、ワルター発動機6基

最大速度 565?/h（ワルター発動時630?/h）

航続距離 10000km

乗員 15人

武装 20mm4連装旋回式機関砲5基（前部1基、上部3基、尾部1基）

13mm単装旋回式機関銃6基（左舷、右舷3基ずつ）

爆装 1トン爆弾2発

1トン魚雷2発

500kg爆弾4発

250kg爆弾8発
60kg爆弾20発

説明

二式大型飛行艇を改良発展した機体で、見た目は事実で活躍できなかった『蒼空』であり発動機である『火星25型』は2500馬力を出すことに成功したことにより長大な航続距離と零戦並の速度を手に入れた。輸送型も開発が進められている。

上野

「作者殿これは・・・」

下野

「航続距離が10000kmって・・・」

作者

「これならどんな任務でも耐えきるな」

上野

「次どうぞ」

十式装甲車『ソド』

全長 5.2m

全幅 2.5m

全高 2.4m

重量 12トン

最大速度 100?/h

航続距離 500km

乗員 3人（輸送任務なら10人）
武装 ボフォース40mm連装機関砲1基（車体上部）
エリコン20mm単装機関砲2基（車体内部）
60mm10連装ガンランチャー2基
装甲 正面装甲80mm
側面装甲60mm
後方装甲60mm

説明

歩兵部隊の支援や輸送、敵情偵察など様々な任務に対応できるように開発した装甲車で支援攻撃や対空など何でもできる優れ物である。

上野

「うーん、あえて言うならもう少し足してもよいのではないでしょうか？たとえば火炎放射器とか」

作者

「そうなってしまうといろいろと問題になる」

下野

「どういう事ですか？」

作者

「量産性が落ちたり、火炎放射器に必要なボンベなどで場所を取ってしまうなどマイナス面が多いからだ」

上野

「そう言う事ですか。まあいいでしょう。それより次回予告を」

作者

「さて次回は艦艇と航空機を紹介します」

8 十式大型飛行艇、十式装甲車『ソド』（後書き）

ご意見、ご感想、ご質問よろしく願います。

9 双胴強襲揚陸艦『翔鳳』、双発陸上攻撃機『銀河』

作者

「今回は常陸さんと相模さんをお呼びしました」

常陸

「皆さんどうも」

相模

「・・・どうもよろしく」

作者

「さて紹介しますよ」

双胴強襲揚陸艦『翔鳳』

全長 400m

全幅 80m

基準排水量 15万3000トン

満載排水量 36万2000トン

最大速度 45ノット

航続距離 18ノットで3万海里

乗員 4000人

武装 60口径20cm単装速射砲10基10門（ケースメイト式）

70口径長10cm連装速射砲20基40門

6砲身40mm自動旋回砲塔30基

20cm36連装噴進弾10基

搭載量 上陸用船艇50艇

姉妹艦 瑞鳳、龍鳳、蒼鳳、桜鳳、蓮鳳、光鳳、電鳳以下多数

説明

敵前上陸するために建造された強襲揚陸艦で揚陸中に敵に遭遇したら20cm速射砲で対処する。双胴にしたのはただ単に多く積み込めるからである。

常陸

「まさかだとは思ったが・・・そういう理由だったとは」

相模

「・・・（軽蔑した目で作者を見る）」

作者

「頼むから相模、そんな目で見ないでくれ」

常陸

「あゝあどうしましょう」

作者

「と、とにかく次どうぞ」

双発陸上攻撃機『銀河』

全長 16.5m

全幅 23.5m

全高 5.6m

発動機 『隼星35型』 2基

最大速度 655?/h

航続距離 6500km

乗員 5人

武装 20mm4連装旋回式機関砲4基（前部1基、上部2基、尾部）

37mm斜め連装機関砲2基（夜間戦闘機時）

20mm斜め16連装噴進弾2基（夜間戦闘機時）

爆装 1トン爆弾2発

500kg爆弾2発

1トン魚雷2発

説明

旧日本軍の銀河を改良発展させた機体で夜間攻撃機、偵察機、攻撃機にも変えられるほどの汎用性を誇っている。桜花の母機としても使える。隼星35型は2600馬力を出すことに成功したことにより戦闘機以上の速度、航続距離を獲得した。作者が一番お気に入り機体でもある。

常陸

「質問」

作者

「どうぞ」

常陸

「なぜ一番のお気に入りなのですか？」

作者

「それはね……この名前の由来となった機体だからだよ」

相模

「・・・意外です」

作者

「同じ名前の銀河同士・・・それが理由です」

常陸

「そう言う事ですか・・・次回予告いいですか？」

作者

「次回は戦艦、空母行きます」

9 双胴強襲揚陸艦『翔鳳』、双発陸上攻撃機『銀河』（後書き）

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

10 戦艦『扶桑』、艦上戦闘機『紫電改三二型』（前書き）

予定を変更して戦艦と航空機を紹介します。

10 戦艦『扶桑』、艦上戦闘機『紫電改三二型』

作者

「今回は暁さんと水龍さんです」

水龍

「何か久しぶりに出てきました」

暁

「そう言えばそうですね」

作者

「忘れたわけではない。あまりに出す艦魂が多いから順番が回らなかったわけで・・・」

水龍

「それならしょうがないですが・・・」

作者

「さて行きましょう」

戦艦『扶桑』

全長 420 m

全幅 45 m

基準排水量 15万7000トン

満載排水量 18万6700トン

最大速度 48ノット

航続距離 18ノットで2万5000海里

乗員 4500人

武装 50口径56cm3連装超電磁主砲4基12門

60口径20.5cm4連装超電磁副砲2基8門

70口径長10cm3連装高角砲30基90門

40mm4連装機関砲40基160門

同連装機関砲20基40門

37mm3連装機関砲40基120門

同連装機関砲20基40門

20cm36連装噴進弾10基

零式垂直発射管200セル

水上機 10機（水観5機、水偵5機）

カタパルト 2基

姉妹艦 山城、伊勢、日向

説明

新たに建造した戦艦で上野の性能を上回っており防空能力は上野の20%上がっている。CICを備え重装甲・超高速の新鋭戦艦として次期架空連合艦隊旗艦として期待されている。

暁

「架空連合艦隊？」

作者

「本当ならもう少し先で言おうかと思ったがじれったいんで今日出しました」

水龍

「確かにこの戦艦なら旗艦に向いているね」

暁

「現在の旗艦は？」

作者

「現旗艦は上野さんとなっている。下野さん、常陸さん、相模さんは参謀長で出していないが空母艦隊旗艦は天城さんです」

暁

「そうですね。次行きましょう」

艦上戦闘機『紫電改三二型』

全長 22・1 m

全幅 17・3 m（折り畳み時9・6 m）

全高 3・5 m

発動機 大型原子力噴進機関『召雷^{ソウライ}』2基

大型プラズマ噴進機関『刹那^{せつな}』2基

最大速度 マッハ7・5

航続距離 原子力のため無限

乗員 1名

武装 機首30 mmガトリング砲2門

翼内12・7 mmガトリング砲4門

爆装 空対空噴進弾30発

空対艦噴進弾30発

空対地噴進弾30発

説明

架空連合艦隊初めての原子力、プラズマ機関搭載の航空機で最大速度はマッハ7・5と驚異の速度が出た。見た目はF-22『ラプター』であり愛称は紫電改となっている。ちなみに垂直離着陸機であ

る。

暁

「・・・・・・・・・・」

水龍

「作者これは・・・」

作者

「今までの夢だった原子力搭載航空機が完成したからな。めちゃくちゃ嬉しいよ」

暁

「速度に機体が耐えきれなのか大丈夫でしょうか？」

作者

「試験飛行したが問題無かった」

水龍

「そろそろ次回予告を」

作者

「次回は艦艇と航空機行きます」

10 戦艦『扶桑』、艦上戦闘機『紫電改三二型』（後書き）

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

11 航空戦艦『羽前』、超々重戦略爆撃機『朱雀』

作者

「もう一話投稿してみました」

炎龍

「投稿するのはいいが本編も更新してくれよ」

雷龍

「こっちのほうが好きくて忘れていたか？」

作者

「そんな事はない。絶対にな」

炎龍

「それならいいんだが・・・ではどうぞ」

航空戦艦『羽前』

全長 420m（飛行甲板200m）

全幅 45m（飛行甲板48m）

基準排水量 12万4500トン

満載排水量 15万8900トン

最大速度 45ノット

航続距離 18ノットで2万3000海里

乗員 5000人（航空要員1000人）

武装 50口径51cm3連装超電磁主砲4基12門

60口径25.5cm3連装超電磁副砲2基6門

70口径長10cm3連装速射高角砲30基90門

6 砲身 40 mm 自動旋回砲塔 100 基

20 cm 36 連装噴進弾 20 基

シースパロー 36 連装発射機 20 基

ハーブーン艦対艦ミサイル 20 基

零式垂直発射管 200 セル

格納庫 3 段式で最大 50 機収納可能

航空機 雷薙艦戦 40 機

紫電改 40 機

星河 70 機

エレベーター 20 m × 20 m 四方 2 基

カタパルト 4 基

姉妹艦 羽後、陸前、陸中

説明

架空連合艦隊初の航空戦艦で CIC を備え、自動照準システム『バルカンシステム』、自動迎撃システム『イージスシステム』を初めて導入した艦艇でもあり、対空砲火の量は綾瀬級防空軽巡を遙かに越えている。2つのシステムは架空連合艦隊首脳部が『味方の犠牲を減らしなおかつ敵に与えるダメージを大きくする』と言う要望から完成したシステムであり、バルカンシステムは自動照準、自動迎撃を、イージスシステムは早期発見、早期迎撃、早期反撃を目的にしている。

炎龍

「これはすごいな」

雷龍

「まさに対空火器の城だな」

作者

「こいつの別名は『対空火器の城塞』と言われているんだ」

炎龍

「分かるような気がする」

雷龍

「次どうぞ」

超々重戦略爆撃機『朱雀^{すゑく}』

全長 56・5 m

全幅 65・3 m

全高 8・7 m

発動機 『磁烈噴進発動機^{じれつ}』 8基

最大速度 マッハ1

航続距離 2万7000 km

乗員 15人

武装 20 mm 4連装自動旋回式機関砲6基（前部1基、上部3基、
尾部1基、下部2基）

爆装 13 mm 単装自動旋回式機関砲12基（左舷、右舷6基ずつ）
1 トン爆弾70発

500 kg 爆弾140発

250 kg 爆弾280発

掃射型 20 mm 36連装噴進弾6基

説明

鳳凰の後継機として開発した機体で爆弾搭載量、航続距離を伸ばしさらに護衛機が付けないたため護衛のための掃射機型も完成しておりペアで行動することになる。鳳凰と同じで本土にしか無い長大な滑

走路から発進する。

炎龍

「・・・・・・・・・・」

雷龍

「姉貴・・・駄目だ。放心している」

作者

「当たり前かこんな機体を見せられては誰だって放心するに決まっているだろう」

雷龍

「それにしても富嶽を遙かに超える高コストなんだろう」

作者

「面目ない、未だに生産ラインに乗っていないんだよ」

雷龍

「生産ラインって・・・一か月に何機作るのか？」

作者

「予定だと良くて爆撃型、掃射機型それぞれ30機ずつだな」

雷龍

「おいおい、そんな資源があるのか？」

作者

「そこはご都合主義で」

雷龍

「そんな事でいいのかよ・・・」

作者

「次回予告、次回は本当に空母と艦艇行きます」

11 航空戦艦『羽前』、超々重戦略爆撃機『朱雀』（後書き）

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

12 超弩級双胴空母『大鳳』、防空駆逐艦『秋月』

作者

「今回もまたすごいのを持ってきました」

上野

「そうですね。期待していますよ」

常陸

「ではどうぞ」

超弩級双胴空母『大鳳』

全長 550m

全幅 160m

基準排水量 85万2300トン

満載排水量 110万6700トン

最大速度 46ノット

航続距離 原子力のため無限

乗員 10000人（航空要員1400人）

武装 70口径長10cm3連装速射砲40基120門

6砲身40mm自動旋回砲塔100基

シースパロー36連装発射機20基

RAM近接対空ミサイルランチャー20基

ハーブーン艦対艦ミサイルランチャー20基

格納庫 4段式で各船体に最大200機ずつ収納可能

搭載機数 雷薙艦戦100機

紫電改艦戦150機

星河攻撃機150機

合計400機

エレベーター 20m×20m四方10基（左舷、右舷に5基ずつ）
カタパルト 6基

姉妹艦 海鳳、雷鳳、電鳳以下8隻

説明

架空連合艦隊初の原子力空母でエンクローズド・バウを採用し、艦の形から左にのみのアングルト・デッキやバルバス・バウに搭載したバウ・スラスタ―など新しい設備を採用しバルカンシステム、イージスシステム、CICを備えた空母の完成形となっている。

上野

「すごい空母ですね・・・」

常陸

「双胴空母って・・・大丈夫なの？」

作者

「問題は双胴にしたせいで舵が効きにくい。バウ・スラスタ―を持っているとはいえそれでも効きにくいから回避を対空迎撃で補っている」

上野

「それならいいんですが・・・次どうぞ」

防空駆逐艦『秋月』

全長 170m

全幅 14 m

基準排水量 3400トン

満載排水量 4300トン

最大速度 60ノット

航続距離 18ノットで1万1000海里

乗員 500人

武装 70口径長10cm連装速射砲4基8門

6砲身40mm自動旋回砲塔30基

62cm5連装魚雷発射管2基

20cm36連装噴進弾6基

爆雷投下機2基 爆雷120発

ヘッジホック2基

水上機 1機

カタパルト 1基

姉妹艦 秋風、秋波、秋川、秋山、秋雲、秋谷、涼月、冬月以下多数

説明

旧日本海軍の秋月級駆逐艦を元に開発し綾瀬級防空軽巡と連携して艦隊防空に努める。駆逐艦としては初めて水上機を搭載している。命名基準は秋と月が入っている。余談だが涼月、冬月がドックから出た瞬間にドックが崩れたが秋月はまったくの無傷であった。

上野

「これって幸運艦にあやかっていますね」

常陸

「ドックが崩れたのは聞いていたがまさか・・・」

作者

「まあ無事だからよかったけどな」

上野

「そろそろ次回予告を」

作者

「次回は航空機と艦艇を紹介します」

12 超弩級双胴空母『大鳳』、防空駆逐艦『秋月』（後書き）

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

13 艦上戦闘機『隼雷』、陸上襲撃機『槍電』（前書き）

予定を変更して航空機2本立てで行きます。

13 艦上戦闘機『隼雷』、陸上襲撃機『槍電』

作者

「今回は下野さんと相模さんです」

下野

「やほっ」

相模

「・・・よろしく」

作者

「何が大丈夫がこのメンバーで・・・まあ行きましょう」

艦上戦闘機『隼雷』しゅんらい

全長 22・4 m

全幅 17・3 m（折り畳み時で9・5 m）

全高 3・5 m

発動機 大型原子力噴進機関『刀雷』とうらい 2基

大型プラズマ噴進機関『遙』はるか 2基

最大速度 マッハ10

航続距離 原子力のため無限

乗員 1人

武装 機首30 mmガトリング砲2基

翼内20 mmガトリング砲4基

翼下37 mmガンポッド式連装機関砲2基

爆装 空対空噴進弾30発

空対艦噴進弾30発

空対地噴進弾30発
500kg爆弾2発

説明

雷雉に変わる新型戦闘機として開発され紫電改三二型のデータをもとに新型原子力、プラズマ噴進機関を採用した事によりマッハ10と言う満足な速度を手に入れた。機体の形はF-15Jに似ており勿論垂直離着陸機である。

下野

「紫電改もそうだけどこの機体は特にすごいね」相模

相模

「・・・見た目、ほっそりとしている」

作者

「そうだったのは、極限まで空気抵抗を抑えるためにそうなった。勿論防弾性は上がっているよ」

下野

「恐ろしい機体ですね。次どうぞ」

陸上襲撃機『そつでん槍電』

全長 19.5m

全幅 27.1m

全高 3.7m

発動機 星型20気筒水冷式発動機『きじ煌』2基

最大速度 685?/h

航続距離 5500 km

乗員 3人

武装 機首30mm連装対戦車機関砲1基

翼下37mmガンポッド式連装対戦車機関砲4基

後部20mm連装旋回式機関砲1基

爆装 対戦車噴進弾30発

空対地噴進弾30発

800kg爆弾2発

1トン拡散徹甲爆弾（クラスター爆弾）2発

説明

架空連合艦隊陸軍航空隊に配備される予定の新型襲撃機で煌発動機は3000馬力を出すことに成功。大出力発動機のため二重反転プロペラを採用しており敵制空権内でも敵戦闘機から逃げ出せるほどの速度を出している。

下野

「これはなかなかいい機体ですね」

作者

「本格配備されれば戦車キラーと言われるな」

相模

「・・・これってキ93の生まれ変わりですよね？」

作者

「よく分かったな相模。旧日本陸軍の試作キ93の生まれ変わりだよこいつは」

下野

「この機体の他にも何かの生まれ変わりがあるのですか？」

作者

「例えば十式大型飛行艇は川西飛行機の蒼空を元に作った機体なのだよ」

相模

「・・・そうですね。そろそろ次回を」

作者

「次回は艦艇と巡洋艦を紹介します」

13 艦上戦闘機『隼雷』、陸上襲撃機『槍電』（後書き）

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

14 超高速防空戦艦『金剛』、航空重巡洋艦『笠置』

作者

「さてつと、また新しい仲間を呼んできました」

上野

「今度は誰でしょうか？」

下野

「楽しみだな」

常陸

「そついえば相模がいないな」

コンコン

相模

「・・・連れてきました」

作者

「入ってもいいぞ」

？

「」「失礼します！！」「」

上野

「あなた達は？」

？

「初めまして上野司令、私は扶桑級戦艦一番艦の艦魂の扶桑です」

？

「私は播磨級原子力双胴機動戦艦一番艦の艦魂の播磨です」

？

「私は天城級装甲空母一番艦の艦魂の天城です」

下野

「ほえっ！？あの次期旗艦の扶桑さんに播磨さんに天城さんですか！？」

作者

「ああ、次期旗艦の扶桑に航空艦隊旗艦の天城、それに我が架空連合艦隊初の原子力機関搭載と双胴戦艦の播磨だ」

扶桑

「自分は上野司令を目標に頑張っていきたいと思っています。ですのでよろしく願いします上野司令」

天城

「私も同じで上野司令を目標に頑張っていきますのでこれからよろしく願いします」

播磨

「私も副旗艦の身分ですが上野司令を目標に精一杯頑張っていきたいです」

上野

「……………（顔を赤くしている）」

扶桑

「どうしたんですか上野司令!？」

常陸

「どうやらこんなに褒められた事が無いので・・・」

相模

「・・・あなた達を開発技術研究室（いわゆる開発した兵器を紹介する所）に案内します」

3人

「「「ありがとうございます相模参謀長!」「」「」

作者

「では始めますよ」

超高速防空戦艦『金剛』

全長 420m

全幅 45m

基準排水量 9万4500トン

満載排水量 12万7200トン

最大速度 60ノット

航続距離 原子力のため無限

乗員 4200人

武装 50口径46cm3連装超電磁速射砲4基12門

60口径25.5cm4連装超電磁速射砲2基8門

70口径長10cm3連装速射高角砲30基90門

6砲身40mm自動旋回砲塔120基

シースパロー36連装発射機20基

RAM近接対空ミサイルランチャー20基

ハープーン艦対艦ミサイルランチャー20基

20cm36連装噴進弾20基

零式垂直発射管200セル

航空機 垂直離着陸機20機（紫電改三二型10機、隼雷10機）
姉妹艦 比叡、榛名、霧島

説明

防空に力を入れた戦艦で艦隊防空の要として綾瀬級防空軽巡と秋月級防空駆逐艦と共に活躍するであろう。新しく原子力噴進タービン（今で言うジェットタービン）を搭載しており駆逐艦並の速度を出すことに成功した。主砲、副砲は仰角60度まで傾けることが出来る。バルカンシステム、イージスシステム、CIC、バルバス・バウ、バウ・スラスタはすべての艦艇の必須装備となっている。

扶桑

「す、すさまじい装備ですね」

天城

「ええこれなら上空からの襲撃は無くなりますね」

播磨

「まさに防空戦艦にふさわしいです」

作者

「そうだろ、ばんばん紹介していくぞ」

航空重巡洋艦『笠置』

全長 250 m (飛行甲板100 m)
全幅 24 m (飛行甲板24 m)
基準排水量 2万9900トン
満載排水量 3万7800トン
最大速度 55ノット
航続距離 18ノットで2万7000海里
乗員 1300人 (航空要員300人)
武装 60口径30.5 cm 3連装超電磁砲4基12門
70口径長10 cm 3連装速射高角砲20基60門
6砲身40 mm 自動旋回砲塔50基
シースパロー36連装発射機10基
RAM近接対空ミサイルランチャー10基
ハーブーン艦対艦ミサイルランチャー10基
20 cm 36連装噴進弾10基
62 cm 4連装魚雷発射管6基 (左舷、右舷に3基ずつ)
航空機 30機 (紫電改三二型10機、隼雷戦闘機10機、星河攻
撃機10機)
カタパルト 4基
姉妹艦 生駒、鞍馬、蔵王

説明

旧日本海軍の利根級重巡を元に開発した航空重巡洋艦で艦隊上空の護衛を目的にしている。飛行甲板はV字型で離着艦が可能である。

扶桑

「いつ見てもすごい艦艇を出しますね」

作者

「まあな、それよりも報告です」

播磨

「何でしょうか報告って？」

作者

「この架空連合艦隊ですが実はとね先生のとかぶっていきまして・・・
区別するため別名を発表したいと思います」

天城

「もったいぶらずに発表してください」

作者

「それは・・・『架空帝国連合艦隊』である！！」

扶桑

「架空帝国連合艦隊・・・いい名前ですね」

播磨

「そつだな。そろそろ次回予告を」

作者

「次回は車両と航空機を紹介します」

14 超高速防空戦艦『金剛』、航空重巡洋艦『笠置』（後書き）

扶桑

「ご意見」

天城

「ご質問」

播磨

「ご感想」

3人

「「「よろしくお願いします!!」「」「」

15 双発夜間迎撃機『旭光』、超弩級列車砲『迅雷』

作者

「今回の担当は天城さんと播磨さんです」

天城

「よろしく」

播磨

「どついつのが出るのか楽しみだな」

作者

「早速行きましょう」

双発夜間迎撃機『旭光』きょくこう

全長 18.2 m

全幅 19.3 m

全高 3.6 m

発動機 星型20気筒水冷式発動機『煌改』きらくかい 2基

最大速度 733?/h

航続距離 4500 km

乗員 3人

武装 上部40mm連装斜銃2基

下部40mm連装斜銃2基

機首30mm機関砲4門

爆装 空対空噴進弾20発

空対地噴進弾20発

空対艦噴進弾20発

説明

架空帝国連合艦隊初の夜間迎撃機で月光を元に迎撃に特化した戦闘機で新型発動機である煌改は3200馬力もの出力を出すことに成功した。プロペラは4枚で二重反転プロペラを採用しており配備先は陸軍航空隊である。

天城

「なかなか良い機体ですね」

播磨

「思ったんだけど上昇高度はどれくらいなの？」

作者

「上昇高度は12000m位だよ、どうして？」

播磨

「これまで紹介した航空機すべて上昇高度が書いて無くて分からないんだよ」

作者

「そつか、今度から書くよ」

播磨

「そうしてな・・・次どうぞ」

超弩級列車砲『迅雷』
じんらい

全長 55・2m

全幅 7.5 m
全高 12.3 m
口径 100 口径 1000 mm
砲身長 100 m
要員数 砲操作 1400 人、支援要員 4500 人
仰角 55 度
最大射程範囲 50 km

説明

新しく開発した列車砲でドイツ軍のグスタフ・ドーラを超える性能で砲身長 100 m と規格外の性能を誇り距離 8000 m で 7000 m 装甲を撃ち抜く事が可能で装填時間は 1 時間となっている。

天城

「これは・・・」

播磨

「あり得ないよこいつは・・・」

作者

「あえて言うがこいつの列車砲の一撃は播磨の主砲塔をも吹っ飛ばすことが可能だからな」

播磨

「嘘っ！やばいじゃん！」

作者

「架空帝国連合艦隊の運用拠点の佐渡島（架空世界の）に対艦迎撃用として迅雷を含む 10 両が存在していますから。どんな奴が来て

も確実に迎撃ができます」

天城

「10両って・・・量産化していたんだ」

作者

「そう言う事だ。次回は航空機と艦艇を紹介します」

15 双発夜間迎撃機『旭光』、超弩級列車砲『迅雷』（後書き）

ご意見・ご質問・ご感想をよろしくお願いします。

16 試作超砲撃戦艦『摂津』、十五式超大型輸送機『天空』

作者

「今日の担当は扶桑さんと上野さんです」

扶桑

「皆さんよろしく願います」

上野

「ふむ、先輩として頑張っていけないと」

作者

「ばんばん紹介しましょう」

試作超砲撃戦艦『摂津』

全長 450m

全幅 50m

基準排水量 15万5000トン

満載排水量 20万2100トン

最大速度 45ノット

航続距離 原子力のため無限

乗員 6500人

武装 50口径100cm単装超電磁波動砲1基

70口径長10cm連装速射砲40基80門

6砲身40mm自動旋回砲塔50基

シースパロー36連装発射機10基

RAM近接対空ミサイルランチャー10基

ハーブーン艦対艦ミサイルランチャー10基

20cm36連装噴進弾10基

零式垂直発射管200セル

航空機 垂直離着陸機20機（紫電改三二型10機、隼雷10機）

説明

架空帝国連合艦隊結成時に存在していた戦艦で作者が架空兵器に目覚めて初めて描いた戦艦であり3年振りに発見され、改装してから再び戦列に戻る予定。余談だが発見された場所は架空帝国連合艦隊の廃ドックで眠っていた。主砲の射程距離120キロとなっていて必殺の波動砲はバーストモードと拡散モードがあり使い分けれる事が可能。

扶桑

「3年振りですか・・・」

作者

「いやあゝ初めて書いた戦艦が摂津だったんだよ」

上野

「廃ドックにずっと眠っていたまま・・・つまり3年も目の見ていなかった事になるんですね」

作者

「そつだよ・・・3年、この摂津は3年待ったんだよ」

扶桑

「ガンダムネタはいいから次行きましょう」

十五式超大型輸送機『天空』

全長 70 m

全幅 100 m

全高 25 m

発動機 『磁烈噴進発動機』 12基

上昇高度 1万9000 m

最大速度 マッハ1.2

航続距離 3万2000 km

乗員 12人

武装 40 mm 4連装自動旋回式機関砲9基（前部1基、上部4基、尾部1基、下部3基）

13 mm 単装自動旋回式機関砲14基（左舷、右舷7基ずつ）

最大搭載量 輸送物資400トン

装甲車18両

戦車10両

空挺部隊200人

説明

朱雀の兄弟機であり、噴進発動機を2基セットで6発と大出力を生むことに成功した。大きさはB52を遙かに超えており掃射型、爆撃型も開発中である。

上野

「輸送機にしてマッハ1.2とは・・・」

扶桑

「航続距離が3万キロを超えているなんて・・・」

作者

「これなら敵制空権内でも高速でかつ安全に飛行できます」

上野

「そろそろ次回予告を」

作者

「その前に報告が・・・」

扶桑

「今度は何ですか？」

作者

「明日から31日まで九州合宿のためこれと蒼穹の艦隊が投稿できなくなります」

上野

「そうですか・・・えっ!？」

扶桑

「九州のどこですか？」

作者

「大分から長崎までですね・・・佐世保軍港見てくるぜ」

上野

「それじゃあお土産は長崎カステラと麦焼酎で」

作者

「お酒は二十歳までです・・・設定上上野は大丈夫か・・・」

扶桑

「まあ楽しんできてください。さてと今度こそ次回予告を」

作者

「おう、次回は艦艇と航空機を紹介します」

16 試作超砲撃戦艦『摂津』、十五式超大型輸送機『天空』（後書き）

と言う事で合宿のため今月31日まで投稿できません。ご意見・ご質問・ご感想よろしくお願いします。

17 超弩級三胴航空戦艦『大和』、超弩級バルカン戦艦『志摩』（前書き）

5泊6日の九州合宿が終了しましたので本日から投稿を再開します。

17 超弩級三胴航空戦艦『大和』、超弩級バルカン戦艦『志摩』

作者

「さてつとただいま」

暁

「おかえりなさい作者殿」

炎龍

「お土産は？」

作者

「ほれっ」

炎龍

「ほう、焼酎とは・・・なかなかいいな」

暁

「どうでしたか合宿は？」

作者

「あれはあれでよかったぞ。長崎に行ったけど湾内でDDH171はたかぜとDDH172しまかぜを見つけたのだよ」

暁

「それはよかったですね、今日からまた投稿できますね」

作者

「さてと、では早速紹介しましょう」

超弩級三胴航空戦艦『大和』

全長 850 m

全幅 180 m

基準排水量 45万6700トン

満載排水量 60万6700トン

最大速度 60ノット

航続距離 原子力のため無限

乗員 12000人（航空要員5000人）

武装 70口径80cm連装超電磁主砲4基8門

60口径30.5cm4連装副砲2基8門

70口径長10cm連装速射高角砲200基400門

6砲身40mm自動旋回砲塔200基

シースパロー100連装発射機20基

RAM近接対空ミサイルランチャー20基

ハーブーン10連装艦対艦ミサイルランチャー20基

20cm36連装噴進弾40基

零式垂直発射管500セル

格納庫 4段式で各船体に最大200機ずつ収納可能

航空機 紫電改三二型100機

隼雷戦闘機100機

星河攻撃機200機

合計400機

エレベーター 20m×20m四方8基

カタパルト 8基

姉妹艦 武蔵、信濃、三河

説明

架空帝国連合艦隊の新型戦艦で戦艦の間に空母で挟むという奇想的

なアイディアで完成した戦艦で緊急時には挟んでいる部分の空母を切り離すことが可能である。

暁

「何か元ネタはありますね」

作者

「ありますよ、鋼鉄の咆哮2のムスperlハイムです」

炎龍

「何か危なくないか？ 一歩間違ったら誘爆で沈むんじゃないのか？」

作者

「問題ないさ、たぶんな・・・」

暁

「怪しいですね・・・まあいいでしょう」

作者

「はあゝ次どうぞ」

超弩級バルカン戦艦『志摩』

全長 600m

全幅 50m

基準排水量 30万2000トン

満載排水量 40万3000トン

最大速度 60ノット

航続距離 原子力のため無限

乗員 7000人

武装 6砲身50口径46cm連装バルカン砲4基8門

6砲身50口径20.3cm3連装バルカン副砲2基6門

6砲身70口径長10cm連装バルカン両用砲50基100門

シースパロー100連装発射機20基

ハーブーン艦対艦10連装ミサイルランチャー20基

RAM近接対空ミサイルランチャー20基

20cm36連装噴進弾20基

零式垂直発射管300セル

航空機 垂直離着陸機30機（隼雷、紫電改三二型15機ずつ）

姉妹艦 能登、蝦夷、琉球

説明

架空帝国連合艦隊の新型戦艦で初めて大出力バルカン砲を採用しており主砲は毎分60発発射可能で副砲は毎分120発と言う圧倒的な火力で対空、対艦戦闘が可能となった。

暁

「なんて恐ろしい装備ですね・・・」

炎龍

「ありえないな艦砲にバルカン砲って・・・」

作者

「これ一隻で敵の一個艦隊を殲滅可能な位の火力を保有してますよ」

暁

「そう言えばお土産は・・・」

作者

「ほれっ長崎カステラと皿うどん」

暁

「うれし〜っ！最高ですありがとうございます！」

作者

「それはよかった」

炎龍

「そろそろ次回をお願い」

作者

「次回は航空機二本立てで行きます」

17 超弩級三胴航空戦艦『大和』、超弩級バルカン戦艦『志摩』（後書き）

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

18 双発陸上襲撃機『天河』、新型艦上戦闘機『陣風』

作者

「さてテストが終わりましたので投稿を再開します」

暁

「では早速行きましょう」

双発陸上襲撃機『天河』

全長 18・2 m

全幅 21・2 m（折り畳み時14・8 m）

全高 4・6 m

発動機 星型22気筒水冷式発動機『永遠』^{とわ} 2基

最大速度 721 km/h

上昇高度 1万5000 m

航続距離 5500 km

乗員 2人

武装 機首75 mmキャノン砲1門

機首37 mm機関砲4門

胴体下部50口径105 mm滑空砲1門

後方旋回式12・7 mm連装機関銃1基

爆装 翼下空対地噴進弾50発

胴体収納式空対地噴進弾50発

説明

架空帝国連合艦隊の新型機で旧陸軍の試作機であるキ93を元に開発した。永遠発動機は煌発動機の改良版であり3800馬力出すことに成功したため700 km/h以上の速度を出せた。武装の機首

の75mmキヤノン砲と胴体下部の105mm滑空砲は新型対戦車砲であり10式戦車クラスまでなら一撃で粉碎可能などの威力がある。

暁

「これは・・・」

炎龍

「おい！大丈夫なのかよ105mm滑空砲って！」

作者

「問題ですよ、搭載弾頭数については75mmは5発、105mmは10発と確保してあります」

暁

「とにかくこれならどんな戦車が来ても大丈夫ですね」

作者

「そう思うだろ。次行くぞ」

新型艦上戦闘機『陣風』

全長 12.4m

全幅 14.2m（折り畳み時9.3m）

全高 3.6m

発動機 星型22気筒水冷式発動機『永遠』^{とわ} 1基

最大速度 845km/h

上昇高度 1万5000m

航続距離 6500km（増槽あり）、4400km（増槽なし）

乗員 1人

武装 機首30mm機関砲2門

翼内37mm機関砲6門

胴体下部6砲身20mmガトリング砲1基

爆装 翼下AAM50発

// ASM50発

// AGM(空対地ミサイル)50発

1トン爆弾1発

1トン魚雷1発

説明

ドイツ軍のクルトタンクTa152とアメリカ軍のP51DMスターリングを元に開発した航空機であり最初は事実の陣風同様に局地戦闘機として陸上基地で運用されていたが性能が優れていたため艦上戦闘機として改良し運用を開始した。発動機は天河と同じ永遠発動機である。

暁

「これはいいですね」

炎龍

「陣風か・・・確か戦況の悪化で中止になった機体だよな」

作者

「そうだ。実を言うと今まで紹介した航空機の中には先ほど紹介した天河の元ネタがキ93と言うように旧陸海軍の試作機などの生まれ変わりだよ」

暁

「つまり事実で戦況空しく活躍できなかった機体達をここで改良な
どして活躍できるようにしたんですね・・・」

作者

「そう言う事・・・次回予告、次回は艦艇2本立て行きます」

18 双発陸上襲撃機『天河』、新型艦上戦闘機『陣風』（後書き）

ご意見・ご質問・ご感想よろしくお願いします。

19 ヘリコプター搭載護衛駆逐艦『稻妻』、原子力潜水艦『親潮』

作者

「さてと久々に再開します」

暁

「遅いです!」

炎龍

「また新しい小説に集中していたんだろう」

作者

「とにかく再開しただけでもいいと思ってください。では始めます」

ヘリコプター搭載護衛駆逐艦『稻妻』

全長 155m

全幅 18.5m

基準排水量 5500トン

満載排水量 7900トン

最大速度 60ノット

航続距離 原子力のため無限

乗員 800人

武装 70口径127mm連装超電磁速射砲2基

50口径88mm連装速射高角砲8基

8連装アスロツランチャー1基

8連装艦対艦ハープーン1基

6砲身40mm自動旋回砲塔20基

65cm4連装魚雷発射管4基（左右に2基ずつ）

零式垂直発射管85セル

航空機 紫電改三二型5機、轟龍改5機

姉妹艦 時雨、五月雨以下多数

説明

架空帝国連合艦隊初のシーレーン防衛に特化した護衛艦で轟龍改は対潜兵器を搭載した対潜ヘリでありこの艦のモチーフはDDH143『しらね』である。また新型魚雷である音響追尾式酸素魚雷『回天一型』は速度を自由自在に変えられ6ノット〜45ノットまでであり弾頭には最大3トン徹甲爆弾まで搭載でき命中したら戦艦でも確実に轟沈できる位の威力を誇る。

暁

「まさにシーレーン防衛に優れた護衛駆逐艦ですね・・・」

炎龍

「もはや駆逐艦では無く軽巡クラスだよ・・・」

作者

「次も行きます」

原子力潜水艦『親潮』

全長 220m

全幅 13m

基準排水量 水上7200トン、水中1万2800トン

満載排水量 水中9900トン、水中2万3500トン

最大速度 水上35ノット

水中40ノット

航続距離 原子力のため無限

最大潜水深度 1400m

乗員 1400人

武装 65cm魚雷発射管16門（前方左右7門ずつ、後方2門）
回天一型90本

収納式70口径長10cm連装高角砲10基

収納式6砲身40mm自動旋回砲塔10基

SLBMメガランチャー20基

15cm25連装噴進弾3基

航空機 特殊戦闘機『晴嵐改』10機

カタパルト 1基

姉妹艦 黒潮、満潮以下多数

説明

潜水空母伊900の発展改良型の原子力潜水艦で原子力タービンを10基と純水素タービンを10基搭載しスクリューでは無く噴進機関で動いているため探知されにくい。伊900との連携作戦も可能である。

暁

「ついにここまで来ましたか・・・」

作者

「研究時間が多くかかったのは誤算だったが何とか完成しました」

炎龍

「ほう、そうだったのか・・・それにしても性能が凄まじいな・・・」

「

作者

「伊400を元にオハイオ級原潜のデータ等を混ぜて完成しました」

暁

「そろそろ次回をお願いします」

作者

「次回は航空機と艦艇で行きます」

19 ヘリコプター搭載護衛駆逐艦『稻妻』、原子力潜水艦『親潮』（後書き）

ご意見・ご質問・ご感想をよろしくお願いします。

20 ミサイル重巡洋艦『最上』、原子力航空母艦『雲龍』（前書き）

今回は予定を変更して艦艇2本立てをお送りします。

20 ミサイル重巡洋艦『最上』、原子力航空母艦『雲龍』

作者

「さてまた来ました」

播磨

「久しぶりに登場しました」

天城

「やっと出れました。遅いです作者」

作者

「まあその・・・すまん」

播磨

「まあいいでしょう。では紹介をお願いね」

作者

「ではどうぞ」

ミサイル重巡洋艦『最上』

全長 255 m

全幅 26 m

基準排水量 3万2000トン

満載排水量 5万3000トン

最大速度 55ノット

航続距離 原子力のため無限

乗員 550人

武装 60口径254mm3連装超電磁速射砲6基

70口径長100mm連装速射高角砲12基

8連装アスロクランチャー2基

8連装艦対艦ハーブーン2基

8連装シースパロー発射機4基

6砲身40mm自動旋回砲塔30基

65cm4連装魚雷発射管6基

零式垂直発射管120セル

航空機 紫電改三二型3機、轟龍改3機

姉妹艦 三隈、鈴谷、熊野

説明

架空帝国連合艦隊の新型重巡洋艦で最上型は海自のあたご型とこんごう型イージス艦の設計を基準にして旧海軍の最上型を混ぜて開発された。これも稲妻級と同じシーレーン防衛に専念した艦艇である意味普通の設計である。

播磨

「普通ですか・・・」

天城

「シーレーン防衛に特化した重巡・・・まさに海自の理念に沿っていますね」

作者

「さて次行きます」

原子力航空母艦『雲龍』

全長	650m
全幅	105m
基準排水量	13万3400トン
満載排水量	20万5500トン
最大速度	55ノット
航続距離	原子力のため無限
乗員	6500人（航空要員を含む）
武装	70口径長100mm連装速射高角砲50基 100連装シースパロー発射機20基 RAM近接対空ミサイルランチャー20基 ハープーン10連装艦対艦ミサイルランチャー20基 6砲身40mm自動旋回砲塔150基
格納庫	4段式で最大125機ずつ収納可能
搭載機数	隼雷戦闘機150機 紫電改戦闘機150機 星河攻撃機200機 合計500機
エレベーター	22m×22m四方6基（サイドエレベーター2基）
カタパルト	6基
姉妹艦	機龍、黒龍、星龍以下多数

説明

架空帝国連合艦隊の新型航空母艦で飛行甲板は対1トン装甲で旧日本海軍の『G-8』を元にとにかく最強の空母を目指して開発した結果こうなった。対空能力は防空戦艦金剛に匹敵するほどの性能であり重装甲は最大速度の回天――型の攻撃をも防ぐ。

播磨

「これは・・・やりすぎだ・・・」

天城

「回天一一型を防ぐってまさに重装甲空母です・・・」

作者

「さて次回は兵器紹介せずに艦隊編成をお送りします」

播磨

「んっ、艦隊編成だと？」

作者

「ええ、架空帝国連合艦隊の艦隊編成をお送りします」

天城

「ではこの辺で・・・」

20 ミサイル重巡洋艦『最上』、原子力航空母艦『雲龍』（後書き）

ご意見・ご質問・ご感想をよろしくお願いします。

21 11式水陸両用超弩級戦車『レオ』 71式特殊襲撃機『尖音』 (前書き)

四力月振りに投稿を再開します。

21 11式水陸両用超弩級戦車『レオ』 71式特殊襲撃機『尖音』

作者

「さて四カ月ぶりにここに帰ってきました!!」

天城

「スランプ脱出ごころうさまです」

扶桑

「やっと帰ってきましたか駄作者」

上野

「本当ですよ。本当ならこの場でフルボッコでしたが…今回限り許します。もう二度としないで下さい」

作者

「はい……気をつけます」

扶桑

「では、早速ですが行ってください」

作者

「了解です!」

11式水陸両用超弩級戦車『レオ』

全長 85m

全幅 18m

全高	15 m
重量	2200 トン
最大速度	45 km/h
航続距離	地上220 km 水上100 海里
機関出力	二四〇〇〇馬力（艦艇用の六〇〇〇馬力×4基）
武装	50口径30.5 cm連装戦車砲一基 50口径127 mm副砲四基 70 mm16連装ミサイルポッド四基 30 mm連装機関砲一基（車体上部） 12.7 mm連装機関銃十二基（車体前方）
乗員	14名
正面装甲	350 mm
側面装甲	105 mm
後方装甲	75 mm

説明

事実のドイツ軍がペーパープランだけで終わらせたラーテを元に開発した水陸両用戦車であり戦車砲は巡洋戦艦から転用したのを改良して搭載した。エンジンは艦艇用のを改良して搭載させ2万4000馬力と言う大出力を得た。ちなみにラーテは1万6000馬力若しくは1万7000馬力である。

上野

「この戦車は……」

作者

「久々の投稿と言う事でずっと前から考えてあったこいつを投稿し

たぞ」

扶桑

「戦車砲が12インチ砲……確かラーテはシャルンホルスト級巡洋戦艦の28・3cmでしたっけ？それを真ん中の砲身を取り除いた状態のを搭載するはずでしたよね？」

作者

「その通りだ。では次行ってみよう」

71式特殊襲撃機『せんおん尖音』

全長 12・4m

全幅 14・2m（折り畳み時9・9m）

全高 4・2m

発動機 液冷式X型32気筒発動機『れいめい黎明』一基

最大速度 620km/h

上昇高度 12000m

航続距離 2200km（増槽無し）

3400km（増槽あり）

乗員 1名又は2名（単座型、複座型が存在している）

武装 機首13mm機銃二門

後方旋回式13mm連装機銃一門（複座型のみ）

翼下ガンポッド式40mm機関砲二門

爆装 一トン爆弾一発（胴体収納式）

五〇〇キ口爆弾二発（胴体収納式、縦一列に配置）

六〇キ口爆弾四発（両翼二発ずつ）

空対地誘導噴進弾十二発（両翼六発ずつ）

説明

架空帝国連合艦隊が開発した新型襲撃機であり見た目は旧ドイツ軍のJu-87『シュトゥーカ』G型をベースに大改良を加えた結果、元の形は最早無くどちらかと言えば旧日本軍の彗星を逆ガル翼、四翅×二基の二重反転プロペラにした形である。

発動機の黎明発動機は三五〇〇馬力と言う大出力発動機を開発、搭載する事で大量の対地、対戦車装備が装備できる。

一応、急降下爆撃も可能だがあくまで対戦車攻撃を重視しているため試験的に艦上機型（K型）を開発、試験運用している途中である。

作者

「完成だよ」

天城

「これは……何時に無いレシプロ機……珍しいですね」

扶桑

「そうそう。いつもはジェット機ばかり開発していたからね」

作者

「何かさゝ急に電波がビビッて頭をよぎったんだよ」

上野

「そうですか……では次回予告をどうぞ」

作者

「さて今回は航空母艦、巡洋艦をお送りします……かも？」

三人
「
「
「
オイッ!
」!
」
」

21 11式水陸両用超弩級戦車『レオ』 71式特殊襲撃機『尖音』 (後書き)

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

22 超超弩級双胴原子力航空母艦『鎧龍』 電子戦略軽巡洋艦『大淀』

作者

「さて、今回も行ってみよう！」

常陸

「オ~~~~ッ!!」

下野

「では、どうぞー！」

超超弩級双胴原子力航空母艦『鎧龍』がいりゅう

全長 1200 m

全幅 120 m

基準排水量 85万5800トン

満載排水量 130万4500トン

最大速度 35ノット

航続距離 核融合炉機関搭載のため無限

機関出力 80万馬力（核融合炉始動時）

15万馬力（ディーゼル機関始動時）

95万馬力（両機関始動時）

装甲 舷側295 mm、飛行甲板255 mm、艦橋385 mm

乗員 5500名

武装 71式36連装127 mm艦対空シースパローランチャー2

0基

71式25連装305 mm艦対艦ハープーンランチャー12基

71式16連装203 mm艦対潜アスロクランチャー4基

7 1 式 1 6 連装 2 0 3 m 艦対地トマホークランチャー 1 2 基
7 1 式 1 2 砲身 4 0 m 連装 C I W S 1 0 0 基
7 1 式 多目的垂直発射管 3 0 0 セル

格納庫 4 段式で各階 1 0 0 機ずつ最大 4 0 0 機

搭載機 雷薙艦戦 1 2 0 機

紫電改艦戦 6 0 機

隼雷艦戦 6 0 機

陣風艦戦 6 0 機

星河艦攻 7 5 機

轟龍回転翼機 2 5 機

エレベーター 2 5 m × 2 5 m 四方 1 2 基（サイドエレベーター 4 基）

カタパルト 8 基

姉妹艦 二番艦『いぐさ殻龍』

説明

架空帝国連合艦隊が次期航空戦隊旗艦として開発した双胴原子力航空母艦であり、艦橋は航空統制のため二基を備え右の艦橋は右側の飛行甲板の航空統制を、左の艦橋はその逆で左側の飛行甲板の航空統制を行う。戦闘機の搭載が多いのは事実のミッドウェー海戦の教訓を踏まえたためである。ちなみに 7 1 式の由来は現在西暦 2 0 1 1 年を皇紀換算すると 2 6 7 1 年だからである。

下野

「こ、これは……」

常陸

「破格ですよこの空母は!？」

作者

「そつだろ。次、どうぞ」

電子戦略軽巡洋艦『大淀』おおよど

全長 24.5 m

全幅 2.5 m

基準排水量 1万8500トン

満載排水量 2万9900トン

最大速度 50ノット

航続距離 18ノットで1万8000海里

機関出力 25万馬力（二五〇〇〇馬力×10基）

乗員 1050名

装甲 舷側185mm、甲板105mm、艦橋305mm

武装 71式70口径15.5cm3連装主砲5基15門

71式70口径127mm連装速射高角砲8基16門

71式36連装127mm艦対空シースパローランチャー4基

71式25連装305mm艦対艦ハープーンランチャー4基

71式16連装203mm艦対潜アスロクランチャー4基

71式16連装203mm艦対地トマホークランチャー4基

71式622mm5連装魚雷発射管6基（左右に3基ずつ）

71式多目的垂直発射管100セル

71式12砲身40mm連装CIWS14基

航空機 轟龍回転翼機4機

姉妹艦 二番艦『仁淀』によど、三番艦『香取』かとり、四番艦『鹿島』かしま、五番

艦『香椎』かしい

説明

架空帝国連合艦隊初の電子戦略艦であり事実の大淀型をベースに船体を四周りも巨大化させ最新鋭の電子機器、レーダー、ソナー、多種多様の武装火器を搭載するなどまさにその姿はハリネズミである。加えて全武装火器には高性能自動装填装置を備えているため、レーダー統制射撃と合わせればほぼ無敵の存在になるであろう。

常陸

「これはまた凄い艦艇を……」

作者

「いや、初めての電子戦略艦艇だからね」

下野

「最早大淀は軽巡洋艦では無く事実の伊勢級戦艦並の排水量を有しています……これについては？」

作者

「それは……企業秘密です」

常陸・下野

「「ええ……!!」」

作者

「だってそうでしょ？ここで建造されている全ての艦艇の電子機器などはほぼ機密の塊ですから。納得しましたか？」

常陸

「まあ、作者さんがそう言うなら聞かないけど」

下野

「そうですね。では作者殿、次回予告をどうぞ」

作者

「さて次回は護衛艦と航空機です」

22 超超弩級双胴原子力航空母艦『鎧龍』 電子戦略軽巡洋艦『大淀』 (後書)

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

23 汎用ステルス護衛艦『十和田』 71式ステルス戦闘攻撃機『心神』

作者

「さて、恒例(?)の新艦魂の登場です」

天城

「呼んできました作者殿」

作者

「入ってきてくれ」

??

「失礼します」

元気良く入って来たのは燃えるような炎をイメージさせる炎髪灼眼えんぱつしゃくがんをした10歳位の艦魂で、士官服を着ていて背中には対戦車バズーカを二丁クロス字に背負い、腰には9mm拳銃を二丁ずつ計四丁を保有している。

作者

「えっと……君の名前は？」

??

「ハッ！私は超超弩級双胴原子力航空母艦一番艦の鎧龍です！よろしく願います！」

天城

「元氣いいですね鎧龍さん」

鎧龍

「はい！これからもよろしく願いします」

作者

「では、さっそくだがいくぞ」

汎用ステルス護衛艦『とわだ十和田』

全長 175 m

全幅 20 m

基準排水量 5500トン

満載排水量 9300トン

最大速度 60ノット

航続距離 18ノットで2万海里

機関出力 20万馬力（二五〇〇〇馬力×8基）

乗員 550名

装甲 舷側125mm、甲板85mm、艦橋285mm

武装 71式50口径155mm単装速射高角砲2基2門

71式36連装127mm艦対空シースパローランチャー4基

71式25連装305mm艦対艦ハープーンランチャー4基

71式16連装203mm艦対潜アスロックランチャー2基

71式16連装203mm艦対地トマホークランチャー2基

71式622mm5連装魚雷発射管4基（左右に2基ずつ）

71式12砲身40mm連装CIWS12基

71式多目的垂直発射管200セル

航空機 轟龍改4機

姉妹艦 二番艦『はまな浜名』、三番艦『ときわ常盤』以下多数

説明

架空帝国連合艦隊初のステルス機能搭載の護衛艦でありステルス性能を徹底的に考慮したため自軍のレーダーにすら引つ掛からないほどのステルス性能を有した。ちなみに艦名は湖の名前から取っている。

天城

「ステルス護衛艦……ズムウォルト級ですか元にした艦艇は？」

作者

「その通り。武装火器は戦闘時以外は収納しております」

鎧龍

「ほえ………凄いです作者さん！」

作者

「まあね。どんどんいくぞ」

71式ステルス戦闘攻撃機『心神』しんしん

全長 11.5 m

全幅 主翼後退翼75度：10.55 m

主翼後退翼68度：11.85 m

主翼後退翼20度：19.55 m

全高 5 m

発動機 71式ターボファンエンジン『轟炎』こうえん 2基

最大速度 マッハ2.5（アフターバーナー展開無し）
マッハ4.5（アフターバーナー展開時）
航続距離 3200km（増槽無し）
5000km（増槽有り）
上昇高度 2万2000メートル
乗員 1名
武装 71式35mmリボルバーカノン2門
爆装 71式空対空誘導ミサイル12発
71式空対艦誘導ミサイル12発
71式空対地誘導ミサイル12発
1トン誘導爆弾2発
500キロ誘導爆弾4発

説明

架空帝国連合艦隊航空隊の新型ステルスジェット機であり新型の航空機関砲である71式35mmリボルバーカノンは2000メートルで85mmの装甲を撃ち抜くほどの高威力である。

轟炎ターボファンエンジンは推力9700キログラム、アフターバーナー展開時は1万3500キログラムのため大量の武装火器を搭載してもなお余裕があるほどの大出力を誇る。

機体のフォルムはF-2支援戦闘機をベースに水平尾翼はF-22『ラプター』と同じ角度で2枚、主翼はF-14『トムキャット』と同じ可変翼を採用している。ちなみに心神とは現在の時世代の新型ステルス戦闘機の名前から取ってある。

鎧龍

「ただけ～～！！」

天城

「これは破格の性能を有するジェット機ですね……」

作者

「心神は自分が考えた戦闘機の中では一番です」

鎧龍

「作者さん、この心神を私（航空母艦の方の鎧龍）に積載してください〜い！」

作者

「まあ、生産体制が整い次第配備してゆくつもりだから安心してください」

天城

「作者さん、もちろん私にも配備しますよね？」

作者

「もちコース」

二人

「「古いです！！」」

作者

「そうですね……？まあいいでしょう。次回は車輛二本立てです」

23 汎用ステルス護衛艦『十和田』 71式ステルス戦闘攻撃機『心神』(後

ご意見・ご質問・ご感想よろしくお願いします。

24 71式装甲戦闘車『セイ』 71式戦闘偵察車『テイ』

作者

「今回は上野さんと扶桑さんです」

上野

「さて、ようやく調子を取り戻せましたね作者」

扶桑

「そうそう、やっぱりこうでないと作者は」

作者

「ああそうだな。では早速始めます」

71式装甲戦闘車『セイ』

全長 9・85m

全幅 3・25m

全高 2・25m

重量 45トン

発動機 液冷式V型12気筒ディーゼルエンジン『蒼炎』そつえん

最大速度 100km/h

航続距離 850km

装甲 正面装甲55mm

側面装甲45mm

後部装甲35mm

乗員 12名（車長1名、操縦士1名、砲撃手2名、普通科分隊8名）

武装 71式40mm高速機関砲2門

71式13mm連装高速機関銃1門（車体上部）

71式16連装127mm対戦車誘導ミサイルガンランチャー

12基

71式4連装105mm煙幕弾発射ランチャー2基

説明

架空帝国連合艦隊陸戦隊初の装甲戦闘車であり、見た目は89式装甲戦闘車である。武装の配置は40mm高速機関砲を備え砲塔左右にミサイルガンランチャーと煙幕弾発射ランチャーを備えている。ちなみにエンジンは前方部分に配置している。これはイスラエル陸軍のメルカバ戦車と同じコンセプトであるエンジンを1つの盾にする事で乗員の生存性を高めている。最後に『セイ』はサイドスカーレット付きのキャタピラを採用している。

扶桑

「これは…何とまあ、凄い戦闘車両を」

上野

「これが現代に居たら……敵の兵士が可哀想になりますね」

作者

「こいつが量産された暁には中国など！……現実的には無理ですけど、次です」

71式戦闘偵察車『テイ』

全長	9・25 m
全幅	3・25 m
全高	6・5 m
重量	35トン
発動機	液冷式V型12気筒ディーゼルエンジン『蒼炎』 そうつえん
最大速度	105 km/h
航続距離	1050 km
装甲	前面装甲85 mm 側面装甲75 mm 後方装甲75 mm
乗員	4名
武装	71式65口径105 mm滑空砲1門 71式13 mm連装高速機関銃1門（車体上部） 71式16連装127 mm対戦車誘導ミサイルガンランチャ
12基	71式4連装105 mm煙幕弾発射ランチャー2基

説明

架空帝国連合艦隊初の戦闘偵察車であり、見た目はイタリア陸軍のチェンタウロ戦闘偵察車である。71式65口径105 mm滑空砲は一世代前の戦車砲とは言え威力はお墨付きをもらうほど高性能である。足回りはサイドスカート付きの8輪駆動式のコンバットタイヤを採用する事で被弾に強くなった。ちなみにだが『蒼炎』は高性能高出力であるが故に構造が複雑化してしまい整備兵泣かせのエンジンとなってしまった。

上野

「モチーフがチェンタウロですか……確かあれは正面ですら20 m

m機関砲弾までしか耐えきれない脆い車輛ですが？」

扶桑

「で、その脆さを足の速さで補うヘタリアのイタリアらしい車輛でしたか？」

作者

「チェンタウロはチェンタウロ、ティはティです。チェンタウロと一緒に出来ないほどの高性能化しました」

上野

「ですが心臓部の蒼炎が大変なことになっていますけど」

作者

「まあ、何とかなるでしょう。次回は艦艇と航空機をお送りします」

24 71式装甲戦闘車『セイ』 71式戦闘偵察車『テイ』（後書き）

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

25 超々々弩級機動航空戦艦『長門』

71式超戦略重爆撃機『富嶽』

作者

「さて今回は鎧龍さんと相模さんです」

鎧龍

「どうもです」

相模

「・・・久々の登場です」

作者

「今回もバリバリ行ってみよう！」

鎧龍

「お～～！！」

相模

「・・・ではどうぞ」

超々々弩級機動航空戦艦『ながと長門』

全長 850m（飛行甲板350m）

全幅 65m（飛行甲板70m）

基準排水量 185万5000トン

満載排水量 200万4500トン

最大速度 55ノット

航続距離 原子力機関のため無限

機関出力 150万0000馬力（核融合炉起動時）

125万0000馬力（ディーゼル機関起動時）

275万0000馬力（両機関起動時）

装甲 舷側455mm、甲板305mm、主砲塔625mm、艦橋855mm

乗員 7500名（航空要員2500名を含む）

武装 71式50口径127cm3連装超電磁速射主砲3基9門

71式36連装127mm艦対空シースパローランチャー5

0基

71式25連装305mm艦対艦ハープーンランチャー50基

71式16連装203mm艦対潜アスロクランチャー10基

71式16連装203mm艦対地トマホークランチャー20基

71式12砲身40mm連装CIWS120基

71式多目的垂直発射管300セル

格納庫 4段式で各階125機ずつ最大500機

航空機 紫電改艦戦100機

隼雷艦戦120機

陣風艦戦120機

星河艦攻75機

轟龍回転翼機25機

心神戦攻（戦闘攻撃機の略称）60機

エレベーター 30m×30四方14基（サイドエレベーター6基）

カタパルト 8基

姉妹艦 二番艦『陸奥^{むつ}』、三番艦『加賀^{かが}』、四番艦『土佐^{とさ}』

説明

架空帝国連合艦隊史上初の50インチ主砲搭載の機動航空戦艦にして200万トンクラス機動航空戦艦と言う破格の性能を誇る。50口径127cm3連装超電磁速射主砲は5500トンもの重量であり625mmと言う重装甲超重量のため通常の主砲では破壊できな

いほどである。さらにウォータージェット推進式、一基当たり10万馬力を誇る核融合炉機関等最新鋭の技術をふんだんに積み込んだまさに大艦巨砲主義の象徴として君臨するであろつ。

鎧龍

「・・・これはやり過ぎですよ」

相模

「・・・50インチ主砲・・・最強すぎます」

作者

「どうだ。こいつは四隻も建造されているのだからな。一隻で一艦隊を葬れるほどの火力を誇れるぞ」

鎧龍

「それも破格すぎます!」

作者

「次も凄いぞ。ではどうぞ」

71式超戦略重爆撃機『富嶽』ふがく

全長 85 m

全幅 100 m

全高 16 m

発動機 アナハイムエレクトロニクス社製71式ターボファンエン

ジン『爆炎』^{ばくえん} 12基

最大速度 マッハ1.2

航続距離 3万5000km

上昇高度 1万8000メートル

乗員 16名

武装 71式自動旋回型30mm4連装機関砲8基（機首1基、尾部1基、上部3基、下部3基）

爆装 345トン

説明

架空帝国連合艦隊の新型超重爆撃機であり特徴は何と言っても1基当たりの推力1万1200キログラムを誇る『爆炎』ターボファンエンジンを2基ずつのペアで左右に6基の計12基を積んだ事により爆装245トンを積載してもなおマッハ1.2と言う音速を超える速度で飛行することが可能となった。機関砲についてはB29と同じ理由で与圧キャビン式を採用しているため機銃座用の穴をあける訳にもいかずレーダー連動式を採用する事でその問題を解決した。見た目は現代のA1225『ムリヤー』とB-52『ストラト・フォートレス』を足して二で割ったような風貌である。

鎧龍

「なんてすごい重爆撃機を・・・」

相模

「・・・作者さん。いいですか？」

作者

「なんだかね？」

相模

「・・・アナハイムエレクトロニクス社って何？」

鎧龍

「私もそれが気になっていたの。どういふの？」

作者

「アナハイムエレクトロニクス社・・・長いからA E社とするが、
架空帝国連合艦隊を全面的に資金提供や開発を支援して頂いている
企業です」

鎧龍

「ほえゝ・・・何か凄い企業だね」

相模

「・・・元ネタはZガンダムですか？」
ゼータ

作者

「うっ！・・・その通りだ」

鎧龍

「へえゝそうなんだ。では次回をどうぞ」

作者

「さて次回は艦艇と車輛を紹介します」

25 超々々弩級機動航空戦艦『長門』 71式超戦略重爆撃機『富嶽』(後書

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

26 71式重戦車『ジニ』 護衛戦艦『筑波』

作者

「さて今回の担当は下野さんと常陸さんです」

下野

「どうもです」

常陸

「さて今回はどんな超兵器が出てくるのでしょうか？」

作者

「見てからのお楽しみです。早速どうぞ」

71式重戦車『ジニ』

全長 10.65m

全幅 3.95m

全高 3.2m

重量 75トン

発動機 液冷式V型12気筒ディーゼルエンジン『蒼炎』そつえん

最大速度 80km/h

航続距離 750km

装甲 前面装甲105mm

側面装甲75mm

後方装甲75mm

乗員 5名

武装 71式55口径155mm滑空砲1門

71式13mm連装高速機関銃1基（車体上部）
71式13mm単装高速機関銃2基（車体内部）
71式16連装127mm対戦車誘導ミサイルガンランチャー
12基（左右の砲塔）
71式4連装105mm煙幕弾発射ランチャー2基

説明

架空帝国連合艦隊陸戦隊の新型重戦車であり、71式55口径155mm滑空砲は貫通性、破壊力と共にトップクラスを誇り、見た目はレオパルド？をモデルにしている。時速80km/hは敵を翻弄させるのに十分な効果を得ておりその高速性能から『流鏑馬戦車』と称させるほどである。

下野

「あだ名が流鏑馬戦車って確か90式戦車のはずでしたか？」

作者

「ああそうですよ。けどこいつの移動しながらの戦車砲射撃は圧巻の一途です」

常陸

「ちよつとちよつと、個人的な意見を加えますか」

作者

（キッパリ！）「もちろん加える」

下野

「で、では次どうぞ」

護衛戦艦『筑波』^{つくば}

全長 285 m

全幅 40 m

基準排水量 5万6800トン

満載排水量 7万2500トン

最大速度 50ノット

航続距離 18ノットで2万7000海里

機関出力 30万0000馬力(2万5000馬力×12基)

装甲 舷側225mm、甲板135mm、艦橋305mm

乗員 2200名

武装 71式70口径40.6cm3連装超電磁速射主砲5基15門

71式36連装127mm艦対空シースパローランチャー2

0基

71式25連装305mm艦対艦ハープーンランチャー20基

71式16連装203mm艦対潜アスロクランチャー4基

71式16連装203mm艦対地トマホークランチャー4基

71式12砲身40mm連装CIWS50基

71式多目的垂直発射管200セル

航空機 轟龍回転翼機4機

紫電改三二型6機

姉妹艦 二番艦『韓国』^{からくに}、三番艦『貴船』^{きせん}、四番艦『帝釈』^{ていしゃく}

説明

架空帝国連合艦隊の新型護衛戦艦で走攻守のバランスが整ったバランス型戦艦でもある。参考にしたのは米軍のアイオワ級戦艦と高雄級重巡洋艦である。架空帝国連合艦隊の戦艦群の中では最小の主砲口径だが71式70口径40.6cm主砲は威力だけを見るなら4

5口径46cm主砲とほぼ同威力と口径の小ささを長砲身で補っている。ちなみに主砲配置は高雄級重巡洋艦と同じ。

下野

「おや？今回はやけに小型ですね？」

常陸

「いつもならかなりの超弩級戦艦を紹介するはずだからね」

作者

「たまにはこういう戦艦もいと思ったのでこうなりました」

下野

「そうですか・・・ではそろそろ次回予告をどうぞ」

作者

「さて今回は航空機と艦艇を紹介します」

26 71式重戦車『ジニ』 護衛戦艦『筑波』 (後書き)

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

27 71式噴進偵察機『陣雲』 重巡洋戦艦『畝傍』

作者

「さて本日は播磨さんと扶桑さんです」

播磨

「なんか久々に登場したのですが・・・それより扶桑さんはどこへ？」

作者

「ああ、新しく登場する艦魂を呼びに行ったぞ」

トントン

扶桑

「作者殿、新しい艦魂を連れて来たよ」

作者

「どうぞ入ってきてくれ」

??

「失礼します」

入って来たのは背中に巨刀（イメージはガンダムSEEDのシュベルトゲバール）を二本クロス字に背負い、どこか鎧龍と雰囲気似ていて紫髪紫眼のポニーテールが特徴的な艦魂だった。

??

「初めまして超超弩級双胴原子力航空母艦二番艦の穀龍です。どうぞよろしくお願いします」

播磨

「君が鎧龍さんの妹さんですか。こちらこそよろしくお願いします」

扶桑

「よろしくね穀龍」

穀龍

「こちらこそよろしくお願いします先輩方」

作者

「では、早速が行ってみましょう」

71式噴進偵察機『陣雲』じんうん

全長 18.25m

全幅 15.55m

全高 5.55m

発動機 AE社製71式ターボジェットエンジン『轟雷』こうらい 2基

最大速度 850km/h

航続距離 5500km（増槽無し）

8500km（増槽あり）

上昇高度 1万2000メートル

乗員 1名

武装 71式40mm6砲身旋回式機関砲一門（機首下部）

71式16連装127mm空対空誘導ミサイルポッド4発

71式16連装203mm空対艦誘導ミサイルポッド4発
71式16連装127mm空対地誘導ミサイルポッド4発
71式16連装127mm空対潜誘導ミサイルポッド4発
71式巡航ミサイル『桜花』2発

説明

架空帝国連合艦隊航空隊の新型噴進偵察機であり、見た目はA-10『サンダーボルト?』である。機首の40mm6砲身旋回式機関砲に使用されている弾丸の先端には高純度のタングステン鋼を使用したため破壊力があり、『タンクキラー』と言う二つ名を持っている。71式桜花巡航ミサイルは1万2000メートルと言う破格の射程距離、破壊力のある気化爆弾等強力かつ驚異的な性能を誇る。

播磨

「タンクキラー……サンダーボルト?を魔改造し過ぎですよ」

穀龍

「こいつ、巡航ミサイルまで搭載しているぞ」

作者

「どうだ。こいつが生産された暁には架空帝国連合艦隊陸戦隊は安泰だ」

扶桑

「そうですね。では次、どうぞ」

重巡洋戦艦『うねび敵傍』

全長 265 m

全幅 40 m

基準排水量 3万3700トン

満載排水量 5万2200トン

最大速度 60ノット

航続距離 核融合機関のため無限

機関出力 65万0000馬力（核融合機関起動時）

25万0000馬力（ディーゼル機関起動時）

90万0000馬力（両機関起動時）

装甲 舷側225 mm、甲板185 mm、艦橋535 mm

乗員 2500名

武装 71式70口径30.5 cm 3連装超電磁速射主砲5基15門

71式70口径15.5 cm 連装速射両用砲10基20門

71式36連装127 mm 艦対空シースパローランチャー1

2基

71式25連装305 mm 艦対艦ハープーンランチャー12基

71式16連装203 mm 艦対潜アスロクランチャー4基

71式16連装203 mm 艦対地トマホークランチャー4基

71式16連装305 mm 桜花巡航ミサイルランチャー4基

71式12砲身40 mm 連装CIWS40基

71式多目的垂直発射管200セル

航空機 轟龍回転翼機4機

紫電改三二型6機

姉妹艦 二番艦『なにわ浪速』、三番艦『ちとせ千歳』、四番艦『ちよた千代田』、五

番艦『とね利根』、六番艦『ちくま筑摩』

説明

架空帝国連合艦隊初の新型巡洋戦艦であり、なおかつ大型艦艇の中では姉妹艦の数が一番多い艦艇でもある。この艦以降の大型艦艇に

は新しく採用された71式16連装305mm桜花巡航ミサイルランチャーが備え付けられている事となった。この背景には一発で数多くの敵機、敵艦、敵施設を殲滅するために破壊力のある巡航ミサイルを搭載しようとする上層部の思惑があったと言われている。

扶桑

「敵傍……確か、南シナ海で行方不明になった装甲巡洋艦の名前でしたよね？」

播磨

「何か縁起悪いと言いますか……よく行方不明になりませんでしたね」

作者

「ああ、GPS誘導システムで工廠から主力艦隊が集結している軍港に誘導したのだよ。行方不明になれたらかなり困るからな」

穀龍

「ふむ、中々優秀な巡洋戦艦だな」

扶桑

「では作者殿、そろそろ次回予告をどうぞ」

作者

「さて今回は艦艇二本立てで行きます」

27 71式噴進偵察機『陣雲』 重巡洋戦艦『畝傍』(後書き)

ご意見・ご質問・ご感想よろしくお願いします。

28 超弩級総合輸送補給艦『津軽』 試作超弩級機動戦艦『越後』

作者

「さて今回は鎧龍姉妹です」

鎧龍

「どうもです皆様。機動艦隊次期旗艦の鎧龍です」

穀龍

「前話から登場し続いてサポート役になりました穀龍です」

作者

「うーん。姉妹なのにこんなに違うのか…」

鎧龍

「それは作者さんの設定だからです!」

穀龍

「何言っているのですか全く…」

作者

「そんな事言わないですよ……では、すぐどっぞ」

超弩級総合輸送補給艦『津軽』つがる

全長 365m

全幅 45m

基準排水量 8万2200トン

満載排水量 15万7300トン

最大速度 45ノット

航続距離 18ノットで2万5000海里

機関出力 30万0000馬力(三〇〇〇馬力×10基)

装甲 舷側195mm、甲板75mm、艦橋200mm

乗員 2700名

武装 71式70口径127mm連装速射高角砲10基20門

71式36連装127mm艦対空ミサイルランチャー4基

71式12砲身40mm連装CIWS20基

物資搭載量 航空燃料、食料、飲料水等5万5000トン

姉妹艦 二番艦『浦賀』^{うらが}、三番艦『尾道』^{おのみち}、四番艦『釣島』^{つるしま}、五番艦『土淵』^{どふち}、六番艦『鳴門』^{なると}、七番艦『根室』^{ねむろ}、八番艦『礼文』^{れぶん}、九番艦『野付』^{のつけ}、十番艦『宗谷』^{そうや}

説明

架空帝国連合艦隊の新型輸送補給艦であり、10万トン越えと言う破格の排水量を誇る。見た目は海自のましゅう型補給艦をベースに拡大拡張しておりデリックポストと言われる前後二基に燃料用、中央部は補給品用と言う配置をしている。ちなみに艦名は全て海峡名を付けている。

鎧龍

「これは破格すぎませんか!？」

穀龍

「排水量が15万トンクラス……しかも十隻ですか」

作者

「これ位配備しないと架空帝国連合艦隊が外洋で長期活動不可能です。では次、どうぞ」

試作超弩級機動戦艦『越後^{えちご}』

全長 585m

全幅 50m

基準排水量 10万9200トン

満載排水量 15万6300トン

最大速度 55ノット

航続距離 核融合炉のため無限

機関出力 100万0000馬力（核融合炉起動時）

35万0000馬力（ディーゼル機関起動時）

135万0000馬力（両機関起動時）

装甲 舷側365mm、甲板305mm、艦橋755mm

乗員 5500名

武装 71式試作50口径60cm3連装陽電磁破城砲4基12門

71式試作50口径41cm3連装陽電磁破城砲2基6門

71式試作70口径155mm連装速射両用砲30基60門

71式試作81連装127mm艦対空シースパローランチャ

120基

71式試作49連装305mm艦対艦ハープーンランチャ

20基

71式試作25連装203mm艦対潜アスロクランチャ

10基

71式試作25連装203mm艦対地トマホークランチャ

10基

71式試作25連装305mm桜花巡航ミサイルランチャ

10基

71式試作80cm5連装誘導式酸素魚雷発射管10基（左右に5基ずつ）

71式試作6砲身57mm単装CIWS50基

71式12砲身40mm連装CIWS60基

71式多目的垂直発射管250セル

航空機 轟龍回転翼機4機

紫電改三二型6機

姉妹艦 二番艦『越前^{えちぜん}』、三番艦『越中^{えっちゅう}』

説明

架空帝国連合艦隊初の新型機動戦艦であり、陽電磁破城砲とは我々の世界で言うビーム砲若しくはメガ粒子砲に匹敵する兵器である。

試運転時にこの主砲が放たれた際に距離5万メートルで標的の1000mmものコンクリートの壁を撃ち抜いたほどの威力を誇る。

その他にこの機動戦艦には核融合機関の豊富な動力で光学迷彩発生装置、通称『サクリファイス』、光学電磁フィールド発生装置、通称『ジエネシス』等の高高度技術兵器を搭載している。

さらに、イージスシステムを改良強化したネオイージスシステム、バルカンシステムを改良強化したネオバルカンシステム、船体にはハイパーステルス装甲、通称『ゴスペル』と言われる自軍のレーダーすら発見が不可能なほどの完全なステルス性能を誇る。

ちなみに魚雷も旧ソ連軍の高速魚雷シユクバルを元に魚雷自体に光学迷彩発生装置を備え、発見を困難にし尚且つ最高速度はウォータージェット推進と魚雷自体を限界まで細めた事の相乗効果で250ノットを記録した。

鎧龍

「……う、これは……凄過ぎます!!」

穀龍

「主砲、副砲共にビーム砲って……」

作者

「開発した自分が言うのも何なんだが…これはやり過ぎた。でも後悔していない!」

鎧龍

「では、そろそろ次回予告をどうぞ」

作者

「さて今回は航空機二本立てで行きます」

28 超弩級総合輸送補給艦『津軽』 試作超弩級機動戦艦『越後』 (後書き)

ご意見・ご質問・感想よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6262r/>

架空兵器大特集

2011年9月30日15時35分発行